

編集後記

会報の話題を考えると、いつも気になるのがみなさまのお話。ぜひ、それらを記録としてみませんか。古きよき時代の千葉のきのこ話、最新の千葉きのこ事情など、文章はちょっと...ということであれば聞き書きしますし、出来る範囲で調べ物もします。もちろん、こんな話題がほしいというリクエストもお待ちしています。(公)

送られてきた記事を読んで感じたことがあります。それは多彩な才能を持った会員が多いということです。それに比べ、編集の凡庸さが身にしみるこのごろです。(幸)

キノコ不作の年と言われた 2006 年。夏は暑く、雷や竜巻発生も話題になりました。さらに記録的な暖冬で早々に梅が咲き、春一番も吹き、地球温暖化で生態系が...? と、何かと話題ですが、会報 22 号はボリューム満点でお届けです。(悦)

今回も力作がそろい読みごたえがありました。ありがとうございます。今回の房総きのこ情報は、千葉の砂浜、タマノリイグチ、キヌガサタケ、そして、マコモ文化圏、でした。特にマコモ文化圏には仰天しました。ホテルや雀荘までもマコモなんてすごすぎです。マコモ文化は稲作文化よりも古いのだそうです。会報は、房総のきのこ情報を記録し発信するという大きな役割を担っています。今後とも、房総のきのこ情報の新知見を掲載していきたいと思います。よろしく願い申し上げます(吹)

千葉菌類談話会通信 22 号
CHIBA MYCOLOGICAL CLUB BULLETIN NO.22

2007 年 3 月

発行 / 千葉菌類談話会

編集 / 千葉菌類談話会編集幹事

千葉菌類談話会事務局

〒260-8682 千葉市中央区青葉町 9 5 5 -2
千葉県立中央博物館植物学研究科 吹春気付